

沖縄県立南部農林高校で 出前授業を開催

沖縄総合事務局農林水産部では、国の行政機関である沖縄総合事務局を知ってもらうこと、国家公務員を就職先の1つとして考えてもらうことを目的に、令和2年12月22日、土地改良総合事務所職員が豊見城市の沖縄県立南部農林高等学校で環境創造科の2年生18人に出前授業を実施しました。



慶座地下ダム



慶座地下ダム水質観測施設



満々と地下水を貯える慶座地下ダム

授業では、沖縄総合事務局の農林水産部や土地改良総合事務所の業務概要に加え、糸満市・八重瀬町で実施された国営かんがい排水事業「沖縄本島南部地区」の概要を説明しました。この事業で造成された地下ダムが地下水を貯留する仕組みをはじめ、揚水機場やファームポンドなどのかんがい施設によって農業用水がほ場へ届くまでの仕組みなどについて解説しました(※)。

続いて、国家公務員と地方公務員との違いや、国家公務員になることで経験可能な様々な業務、さらには本年度新規採用された若手職員自らによる就活体験談について紹介しました。

受講した生徒からは、国家公務員の給与・休暇などの待遇条件などの具体的な質問がありました。

農林水産部では、今後も沖縄県内

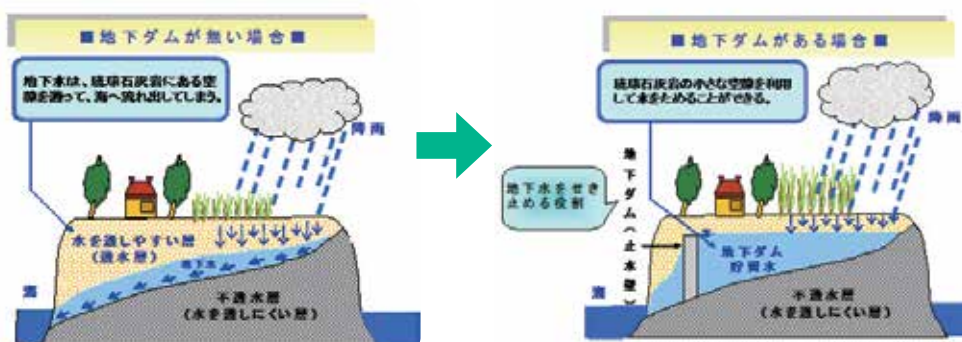


職員の説明に熱心に耳を傾ける南部農林高校の皆さん

の高校生に向けて国の施策や農業農村整備事業に関する情報を提供し、国の役割や国家公務員の仕事を理解してもらえよう、出前授業を継続していきたいと考えております。

今回の貴重な機会を与えて頂いた与那嶺国彦校長、比嘉禎久教諭に感謝いたします。

地下ダムの仕組み



(※)地下ダムとは、地中に水を通さない壁(止水壁)をつくって地下水の流れをせき止めることで、農業用水を溜める施設のことです。地下ダムに溜まった水は、取水ポンプで汲み上げられ、一時貯水施設であるファームポンドに貯えられた後、ほ場へと送水されます。

お問合せ先
農林水産部 農村振興課
098-866-11652